NPO・行政・企業・地域の情報発信により、アイデアと出会いの機会を創ります。

ニュースレター　イデア

2014

7月号

つながり×ひろがる　　いちのせき市民活動センター

～もくじ～

2｜二言三言~ 人そだて地域そだて ~

4｜団体紹介~ 大平そば愛好会 ~（千厩）

5｜地域紹介~ 花泉町老松 宿集落公民館 ~（花泉）

6｜企業紹介~ 株式会社アリビオ~（藤沢）

7｜センターの○○~ 畠山信禎主任のお仕事レポート ~

フタコト×ミコト

第2回　二言三言　4/124,994

人そだて地域そだて

対談者　ジョブカフェ一関 センター長　**金野馨**さん
一関市社会福祉協議会 地域福祉課長　**菅原敏**さん
一関コミュニティＦＭ株式会社　パーソナリティー　**河合純子**さん
聞き手　いちのせき市民活動センター センター長　**小野寺 浩樹**

産業基盤と労働形態の変化

【小野寺】今年度から、ＦＭあすも「人そだて地域そだて」のコーナーは私達４名が順番に出演するという新体制に変わりました。本日は、「一関のまち」と「地域」を私達の共通のテーマとして、お話を伺っていきたいと思います。私は１０年前と比べ、一関の人達の思いやポテンシャル（潜在能力）が高まってきたと感じておりますが、就労支援をしている金野さんは一関のまちをどう感じていますか？

【金野】今、皆さんに知ってもらいたいことは「産業界そのものの土台が変わってきている」ということです。典型的な例で言うと、大手家電企業の下請け工場が多くあった時代は、そこが市民の働く場所の主体でした。しかし、今はテレビ、携帯電話、パソコン等の電化製品を、単体ではなく複合的に製造するという構造に変わりつつあり、地方の工場は減ってきています。

　また、西日本や関東方面では、事務的な仕事のほとんどは在宅で行うことが当たり前になっています。わざわざ会社に出勤し、机を用意して行う必要はなくて、データさえあれば給与計算も帳簿づくりも自宅でできるのですから。

　今は非正規というとマイナスのイメージが強いのですが、一日３～５時間はアルバイトで食費分を稼ぎ、残りは個人で事業を行い、合計で月２０万円の収入を得るという、それぞれの生き方により働き方も多様化してきています。今は、「働く＝会社勤めだけではない」ということです。労働時間については、昔は二交代や三交代勤務でしたが、今は同じ職場でも、勤務開始時刻と終了時刻が違う時差勤務を行っている企業は、全体の９割にものぼります。企業を経営する側も、こういった労働形態の変化に対応できる経営をしてほしいですね。

　今は、ちょうど“過渡期”なのでしょう。社会システムの土台が変わろうと始まったばかりなので、そこに注目をしてほしいし、一関でも働き方の多様化が進むと思います。一関で働く人も、経営する方もそこを気にしてほしいですね。

福祉はまだ知られていない

【小野寺】地域福祉の部分では、今の一関をどんな風に見ていますか？

【菅原】一関では、福祉の理解がまだ広がっていないと思います。福祉はどちらかというと、高齢者の介護や児童保育など、専門的な資格を持った方が行うイメージがあると思います。しかし、福祉は私達が身近でごく当たり前のように行っていることです。

　福祉は「普段（ふ）の暮らし（く）を幸せ（し）にすること」であり、皆が幸せになるためとか、自分の幸せって何か？とか、そういった所から始まるんだと思います。これは協働のまちづくりにも関係する部分ですが、今までは共助が一生懸命だったので、行政は

なんとか地域を運営することができていました。しかし少子高齢化が進み、果たして今のような共助が将来もできるのか。少子高齢化の推移をグラフで示すと、皆驚きますよね。実態を知ると「自分達がやらなきゃ」と思うのですが、私達がその実態を十分に伝えられていないから、まだ「やらされ感」を感じてしまうのかもしれませんね。

新しい文化圏の構築を目指す

【小野寺】毎日、地域の実態を伝えている河合さんは、客観的にどう感じていますか？
【河合】今日お集まりの皆さんにはＦＭあすもで毎週水曜日放送中の「人そだて地域そだて」のコーナーにご出演いただきありがとうございます。

ＦＭあすもは開局して３年目になりますが、今はまだ、行わなければならないことの１割もできていないと思っています。私達の仕事は、大町の事務所でマイクの前で話すことだけではありません。自分達の足で市内各所に伺い、その景色を見て感じたことを、その場所に行けない人に伝えることが１つの役割だと思っています。

例えば、田植えをしている様子や雲の流れが速いこと等、その場にいない方にも、同じ空気を吸っているかのような情報発信ができたらと思いますし、あわせて皆さんの生活の中に日常的にラジオが流れることで、自然と情報収集をしていただけるといいなと思います。

それから、私達は新しい文化圏をつくることを目標に掲げています。平泉にお住まいの方が、ＦＭあすもから室根や藤沢等あちこちの地域の情報が流れているのを聴いた時に、「一関は広くなったと感じました」と話していました。市民である私達が、一関は広くなったと実感することもありますが、その周辺の方々が一関をイメージした時に、こんな文化圏があるんだということを感じてもらうような情報発信ができればと思います。

また、市役所の市政情報課や市民課、消防署、警察署等から提供いただいている情報をなんとか束ねる横の繋がりをつくっていく事が出来ればと思います。色々な所から発信されている情報を一元化して、皆さんにラジオを通して渡し、その情報を皆さんが日頃の生活に役立ててほしいなと思います。しゃべることが最終目標ではなく、その先の情報を皆さんに活かしてほしいという所に重きを置いています。

これからの「人そだて地域そだて」

【小野寺】地域づくりについては、原点回帰かなと思います。人と人とが繋がるコミュニティがあるからこそ地域や人が成長します。今は世の中が便利になりすぎていますが、ちょっと不便だった時代は、知恵を絞ることと、声を掛け合い助け合うことに一生懸命で、互いに支え合って生活していました。少し前の時代に戻り、今住んでいる所のコミュニティも、新しいコミュニティも、両方作り上げていくということが、人と地域をつくることになるのかなと思います。

会話の中のキーワードを上げると、今はちょっとした「過渡期」であり、変わらなければいけない時期なんだろうなと思っています。地域づくりにおいては、市民の方はまだ「やらされ感」を感じていると思います。その「やらされ感」をなくすように、地域の実態をリアルに伝えたり、横の繋がりを作っていくことが大事かなと思います。これが出来ていくと、きっと新しい文化圏になっていくと思いますので、私達が“人そだて地域そだて”や日常を通じて皆さんに伝えつつ、皆同じ空気を吸っているということを感じてもらえる情報発信ができればいいなと思います。

基本情報

【ジョブカフェ一関】
住所：〒021-0881 一関市大町 4-29 なのはなプラザ 4F
電話：0191-26-3910　FAX：0191-26-6007
【一関市社会福祉協議会】
住所：〒021-0877　一関市城内 1-36
電話：0191-23-6020 FAX：0191-23-6024
【一関コミュニティＦＭ株式会社】
住所：〒021-0881 一関市大町 4-29 なのはなプラザ 4F
電話：0191-48-3651　FAX：0191-48-3652

紙面で紹介しきれなかった部分は、「こぼれ話」としてブログに掲載しています。気になる方はチェック！
URL：blog.canpan.info/ichinoseki/category_15/1

団体紹介

大平そば愛好会の皆さん
（佐藤千宏さん：写真中段左端）

おおだいら 大平そば愛好会

～基本情報～
◆会長：佐藤　千宏 さん
◆連絡先：〒029-1111
一関市千厩町奥玉字登戸 68-12
◆電話：0191-51-2005
◆FAX：0191-51-2005

みんなで育てたそばで地域を元気に

そばは食べなきゃもったいない

千厩町奥玉で地元産のそば粉を使った手打ちそばを振る舞い、地域を盛り上げている大平そば愛好会。今回は会の立ち上げから活動を支え、現在も夢を持ち会の運営に励む佐藤千宏さんにお話を伺いました。

大平でそばを育てるようになったのは、平成 18 年に地元の中山間大平集落が景観作物としてそばを植えたことがきっかけです。そば畑はきれいな花を咲かせましたが、「花を見るだけでは勿体ない」と実を収穫し、そば粉にしました。当時は自治会内にそばを打てる人がいなかったので自治会役員と婦人部が中心となり、そば打ちの先生に打ち方を習い、自治会の新年会や祝年会で手打ちそばを振る舞いました。自治会役員は任期が過ぎれば交代してしまい、新しい役員が一から作り方を習うのは大変なので、いつお祭り等に呼ばれても対応できるようにそば打ち団体を作ろうと、そば打ちを習った有志が中心となり平成23年1月に大平そば愛好会が結成されました。

現在も立ち上げ当初からほぼ変わらず、13 人の会員で活動しています。何をするにも「まずはやってみっぺ！」と会員のまとまりがとてもよいと佐藤さんは話します。

地域行事で大活躍

会を立ち上げてからは、せっかくなので活動を広げたいと、地元奥玉を中心に地域の行事等に積極的に参加しています。

毎年春に行われる飛ケ森キャンプ場びらきで行うそばの早食い大会は人気のアトラクションになっています。当日朝早くからそばを打ち、現地で湯がいた一番おいしいところを出しています。参加者からは「早食いではなく、ゆっくり味わって食べたい」という声も。

秋の奥玉地区民芸大会では、昨年からこれまで食堂を開いていた地区の参加が難しくなったため、同愛好会が引継ぎ、食堂を出しています。

平成 24 年からは、年末に陸前高田市の仮設住宅で年越しそばの振る舞いを行っています。地元の野菜を具材に使った温かいそばはとても喜ばれています。

みんなに届けたい地元のそば

会の発足からどんどん活動の幅を広げている同愛好会ですが、佐藤さんの夢はまだまだ広がります。「いつか地元でそば祭りを開き、そばの食べ放題やそば打ち体験をさせたい」「子供達にそば畑の一角を任せ、種まきから収穫、そば打ちまで体験させたい」等々、今後の目標をたくさん語っていただきました。これからも地場産品と手作りにこだわり、食を通じて地域を元気にする同愛好会の活躍が楽しみです。

陸前高田市の仮設住宅で振舞う
そばを打つ会員の方々

地域紹介

花泉町老松　宿（しゅく）集落公民館

現館長小野寺忠さん（左）と
前館長千葉平城さん（右）

～基本情報～

◆館長：小野寺忠さん
（平成 26 年度～　１期１年目）

◆花泉町老松地区宿集落は、37 世帯、約 140 名が住む中山間地域です。長男会が組織され、集落の活動をリードしています。

新住民を温かく迎え共に担う地域活動

新しい住民を交えた地域活動

宿集落は、花泉町老松地区の東側に位置し、県道 21 号花泉線藤沢線が東西に走る中山間地域です。この集落がある行政区は、宿・藤田・宮沢の３集落が一つになり第４行政区となっています。

今回は、宿集落公民館の館長を６年（３期）務めた千葉平城さんと、今年から新しく館長に就任した小野寺忠さんにお話を伺いました。

「元々は 20 数世帯の集落でしたが、北上川河川改修工事に伴う住居移転により、日形地区からこちらに新築移転する世帯が増えてきました。新しい住民の方には早く地域に馴染んでもらえるよう声掛けをしています」と語る千葉さん。

集落公民館は花泉地域独自の自治会組織で、ここでは１世帯 4000 円の年会費と市の補助を基に運営。

集落公民館の役員は館長、副館長、会計の３名。事業計画は、理事５名（館長・副館長・会計・長男会２名）を中心に話し合われ、このほか、防災部員、保健推進委員、女性生活学級委員、体育推進委員などが組織されており、それぞれの分野で地域を支えています。

活動のけん引役「長男会」

宿集落には、俗にいう跡取り息子たちで構成される長男会という組織があります。「長男会は、集落内のけん引役で様々な活動をリードしています。特に、地元の英雄である『千葉惣左エ門』の物語を自分達で台本を作り劇にし、老松公民館の芸能発表会等で広く紹介しています。子供たちも出演しているので、この劇をきっかけに地元の英雄を広く知る機会になればと思っています。実は私もまだ会員です」と語る小野寺さん。

千葉惣左エ門は、寛政９（1797）年厳しい封建制度の下、旧一関藩領の十三カ村の農民が結集して起こした百姓一揆の総訴人の代表として知られています。自身は斬首の刑に処されたものの訴状は認められ、農民を救った惣左エ門は郷土の英雄として地域に祀られています。また、地元老松公民館では惣左エ門の活躍した姿を太鼓で表現した「流れ義民太鼓」がつくられ、様々な場面で演じられています。

また、長男会は毎年海の日に行われている恒例行事、「ふれあい夏祭り」の運営も担っています。会場は集落公民館の庭が狭いために、近くの広場を使います。「結婚のため他地区へ行った子供たちを招待して住民と一緒に楽しむ一大イベントで、ずいぶんと前から行われています。最近も東京から３家族が参加していただいたこともありました。また、転入世帯の方とも親睦を深める良い機会となっています」と千葉さんは語ります。

集落のまとまりを継続する

「昔からまとまりのある集落と周りから言われているようです。新館長としてそれをいかに持続させていくか。皆が参加したいと思う公民館活動に取り組んでいきたい」と小野寺さんは抱負を語ります。お二人の話からは、いかにして集落を穏やかにまとめるかという想いが感じられました。

子供も大人も楽しむふれあい夏祭り

株式会社アリビオ

サービス付き高齢者向け住宅　白藤
デイサービスセンター　白藤

企業紹介

管理者
佐藤 道宏 さん

～基本情報～

◆管理者：佐藤 道宏 さん
◆連絡先：〒029-3405
一関市藤沢町藤沢字八沢 262-1
◆電　話：0191-61-1500
◆ＦＡＸ：0191-61-1501

『ひとりじゃないよ』　地域で支える 自分らしい、”アリビオ（安心）”　な暮らし

～新しい縁～はじめまして

一関市役所藤沢支所から国道 456 号線を 900mほど南下した長閑（のどか）な住宅地に建設された株式会社アリビオは、今年 4 月に開所したばかりの、町内初「サービス付き高齢者向け住宅」です。同社施設は、高齢者の安心・安全な暮らしを藤沢病院と連携し、地域密着の「藤沢型」で支える高齢者向け住宅で、病院から退院後の生活に支障のある高齢者や一人暮らしが困難な方などを受け入れています。

取材を受けてくださった、同社の管理者である佐藤さんは町内のご出身で、現在ご夫婦で同社施設の運営・管理を行っています。佐藤さんは 8 年間、平泉町内の高齢者介護施設の介護員として、奥様は一関市内のデイサービスに相談員としてご勤務されてきました。開所し間もないですが、自身の経験を活かしながら、入居者一人一人に寄り添い、藤沢町ならではの安心な老後生活をサポートしています。

サービス付き高齢者向け住宅とは？

平成 25 年 10 月現在、一関市の総人口 126,162 人に対し 65 歳以上の人口が 39,237 人、75 歳以上の人口が 23,062 人。高齢化率 31.10%と非常に高く、一人暮らし、もしくは高齢者のみの世帯が 12,484 人という現状が明らかになってきています。年老いたとき、住み慣れた地域を離れ、遠くの施設に入居するということを渋々考えている方も少なくないかもしれません。そんな現状の中、住み慣れた地域、環境の中で安心して暮らせる「サービス付き高齢者向け住宅白藤」。有料老人ホームとの違いは何か？というところを尋ねたところ、「有料老人ホームには、『介護付き』と『住宅型』があり、介護付きはその名の通り介護付きの住まいで、住宅型は比較的元気な方向け。介護が必要になったらデイサービス等に通っていただくシステムです。それに対し、サービス付き高齢者向け住宅とは高齢者向けの賃貸住宅で、ケアの専門家による 24 時間の見守り、生活の相談等の支援が受けられるシステムになっています。こういった施設は今まで藤沢町内にはなかったわけですが、住み慣れた地域で顔と顔の見れる安心な生活を提供できることができ、今後はもっと利用者の方々と地域の中に入りたいと考えているところで、町内のさまざまなイベントや奉仕活動等にも積極的に参加しようと計画しているところです」と語る佐藤さん。現在は利用者の年間スケジュール、施設の年間計画の作成を行っており、地域との関わりがますます深くなるであろう様子が伺え、今後ますますの高齢化社会に向けた対応を万全としています。

また、藤沢町内には「ふじさわ地域包括ケア研究会（F - net）」という、地域高齢者福祉ネットワークが存在し、各施設長などの情報交換の場、共有の場が開催されています。このＦ - net には藤沢病院、高齢者総合相談センターふじさわなどの町内高齢者施設関係者団体が所属しており、月に 1 回程度テーマを基に意見交換を行ったり、各施設の発表を行ったり、地域の見守り活動の紹介を行うなどしています。

日当たりが良く、開放的な施設内を拝見し、地域による地域の見守りが感じられる、安心安全な施設であることが伺える取材でした。

アリビオとはスペイン語で安心という意味とのことです。

センターの◎◎！（まる まる）

― 畠山信禎主任のお仕事レポート―

第２回目となるセンターの〇〇は、畠山主任のお仕事の様子を通してセンターの活動をご紹介します。畠山主任は「一関・狐禅寺・舞川」を担当地域で見ながら、内部では講座の開催、インアーチ、事務会計を担当。またセンター長、佐々木主任とともにセンターの事業戦略を検討するという重要な役割も務めています。いつも優しくフォローしてくれる畠山主任ですが、センター長が不在の時はスタッフの中心に立ちリーダーシップを発揮しています。

6月3日

景観学習

花泉の涌津小学校で２週にわたって実施された景観学習に参加し手法を学びました。
児童の皆さんと一緒に景観学習について説明を受けまちあるきへ出発。児童は学校周辺を歩いて、思い思いの景観を撮影。「好きな景観、嫌いな景観、気になる景観」に分類した景観シートを作成しました。（真剣な子供達の様子をただひたすら撮影する畠山主任）

6月5日

ワークショップ1

平成24年から３か年の継続事業である両磐地域の広域観光推進ワークショップにはファシリテーターとして参加。話し合いを円滑に進めるためのお手伝いをしました。一方で、観光協会やガイドの会をはじめ、その分野に造詣の深いメンバーの話は、畠山主任にとって大いに勉強にもなっているそうです。

6月11日

ワークショップ2

東山町田河津の地域づくりを考える「田河津のこれからを語る会」は今年度３回目。この日はグラウンドゴルフ大会事業についてのアイディア出しでしたが、楽しいイベントの話し合いは沢山意見が出て盛り上がりますし、地域の方に囲まれた話し合いでは、いつも大きな刺激を受けます。（膝も弱点で実は和室が苦手な畠山主任）

6月12日

定期訪問

当センターでは、市内で活動する団体さんを定期的に訪問し、情報紙や助成金情報をお届けしながら活動の様子をお伺いしたり情報交換させていただいております。畠山主任曰く「10%の話題提供と 90%の世間話」。
この日はいちのせき子育てネットさんを訪問。団体さんとの交流は楽しい時間です。（子供に声をかけるも相手にされずちょっと寂しい畠山主任）

一言コメント（本人プロフィール）

山目小学校６年生時「みなさん、僕の名前知っていますか？」という選挙演説で児童会副会長に立候補（当選）。あれから４０年（きみまろ？）、最終学歴であり人生の転機となった一関高等職業訓練校（舞川）を経て、現在いちのせき市民活動センター主任。ひたいの老眼鏡がトレードマークで一男一女の父。奥様の話にはあえて触れまい。娘の影響で見始めたアニメ「ニセコイ」の最終回で思わず泣く。翌日もう一度見てやっぱり泣く。

おしらせ

千厩　「地域づくりハンドブック」マスター講座

当センターでは、地域づくり活動に役立つ知識や技術をお届けする「地域づくりハンドブックマスター講座」を開催します。講座は７月に３回行います。各回の内容については下記お問い合わせ先までご連絡下さい。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【日時】平成 26 年７月５日(土)、17 日(木)、31 日(木)時間は全て 19 時～21 時
【場所】一関市役所千厩支所　２階会議室
【料金】受講料 500 円（全４回分）
【問合】いちのせき市民活動センター
【電話】0191-26-6400

川崎　北上川を体感！カヌー・Eボート体験

ＮＰＯ法人北上川サポート協会では北上川での体験を通して、普段見ることのない視点から川を観察し自然環境の大切さを実感してもらうことを目的に、カヌー・Ｅボート体験を行います。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【日時】平成 26 年７月 20 日(日)･27 日(日)
9 時～11 時・13 時～15 時
【場所】カヌー…横石鉄橋～川崎船着場
Ｅボート…北上大橋付近
【料金】１人 700 円【電話】0191-36-5666
【問合】ＮＰＯ法人北上川サポート協会

藤沢　2014 高校生集まれ！バンドフェスティバル in Fujisawa

一関市内やその周辺で音楽活動を頑張る高校生が縄文ホールに集まり、日頃の練習の成果を発揮し、地域に元気を届けます。 高校生バンドの元気溢れる熱演をぜひ見にいらしてください。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【日時】平成 26 年７月 21 日(祝・月)
開場 13 時　開演 14 時
【場所】藤沢文化センター　縄文ホール
【料金】無料
【問合】藤沢公民館内事務局
【電話】0191-63-5515

大東　猿沢峠山伏神楽 150 周年記念イベント

猿沢神社例祭を中心に地域内外で演舞を行っている猿沢峠山伏神楽は、150 周年を迎え神楽公演を行います。当日は大償神楽第一人者の佐々木隆さんを迎え記念講演も開催予定です。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【日時】平成 26 年７月 21 日(祝・月)
記念講演　10 時～11 時 30 分
神楽記念披露　13 時～15 時 30 分
【場所】猿沢伝承交流館
【料金】観覧無料【電話】0191-76-2411
【問合】峠山伏神楽保存会　菅原

室根　むろね夏祭り

むろね夏祭り実行委員会では、毎年恒例のむろね夏祭りを開催します。メーンの盆踊り大会や花火大会をはじめ熱い夏を盛り上げる催し物を多数予定しています。ご家族やお友達をお誘いあわせでぜひご来場ください。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【日にち】平成 26 年７月 27 日(日)
【場所】室根支所駐車場
【料金】参加無料
【電話】0191-64-3802
【問合】室根支所地域振興課

一関　はぎしょうの里 元気ウォーキング大会

萩荘地区スポーツ・芸能大会実行委員会では、出会いやふれ合い、地域間交流を深めながら萩荘の歴史・文化・自然に親しむことを目的に元気ウォーキング大会を行います。仲間づくり・健康づくりにいかがでしょうか？

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【日時】平成 26 年７月 27 日(日)
受付８時 30 分～
【場所】一関市立萩荘小学校
【料金】無料　【問合】萩荘公民館
【電話】0191-24-2325

花泉　花泉夏祭り・日本一のもちつき大会

花泉夏祭りで行う日本一のもちつき大会は、臼と杵を使った伝統的なもちつきで、出場する各チームはお揃いの衣装やパフォーマンスで盛り上げ、グランプリを競います。できあがった餅料理は来場者に無料で提供されます。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【日時】平成 26 年８月３日(日)
開会式 10 時 30 分～
【場所】一関市役所花泉支所 駐車場
【料金】無料　【電話】0191-82-3130
【問合】一関商工会議所花泉支所

東山　親子で作る げいび渓の夏休み

有限会社げいび観光センターでは、砂鉄川の河原で流しそうめん、工作、川遊びを楽しむ「親子で作るげいび渓の夏休み」を開催します。乗船場から 30 分ほど舟に乗り、三好ヶ丘にある広場で遊びます。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【日時】平成 26 年８月３日(日)11 時～14 時
【場所】猊鼻渓 乗船場～
【料金】一般 1,600 円(大人) 860 円(小学)
【問合】有限会社 げいび観光センター
【電話】0191-47-2341

一関　子ども用の神輿をお譲りします

一関 14 民区では、使わなくなった子ども用の神輿を無料でお譲りします。神輿の大きさは縦横１ｍで、担ぎ棒２本もお付けします。50 年間使用しましたが、大切に保管していたため状態は綺麗です。お気軽にお問い合わせください。

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【料金】無料
【問合】14 民区区長 菅野
【電話】0191-21-0632

今月の表紙

この写真は室根大祭ＰＲキャラクターである、みこシスターズのお二人です。右がミーコちゃん(姉)で左がシーちゃん(妹)です。神輿をイメージした帽子をかぶっており、むろねーじゅワインが大好きです。

Q&A　あなたの「知りたい」にスタッフが答えます

Q　ＮＰＯ法人になるための条件は？

A　ＮＰＯ法人は、ＮＰＯ法に規定される公益的・非営利活動を行うことを目的とし、利益は団体の構成員に分配せず、主たる事業活動に充てなければなりません。また、設立の際は所轄庁の認証と登記が必要で、社員 10 名以上、理事３名以上、監事１名以上いることが条件です。

発行■いちのせき市民活動センター　〒021-0901　一関市大町 4-29　なのはなプラザ4F　TEL0191-26-6400　Fax0191-26-6415
せんまやサテライト　〒029-0803　千厩町千厩字町 149　TEL0191-48-3735　Fax0191-48-3736
ブログはコチラ